

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	200	[B] 除いた共通語	
項目名		[C] 除いた特殊語	(/)
ハヤシ・ヤマ		1975	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0779.03	arajama <南盤 平之ヶはやし> <全部平地にわたる haya si ta.>	
0840.33	kiwara hajasiwara sanrin <今> } いずれも平地も傾斜地 も区別なく言った。	
0894.61	ハヤシ9時 ハヤシ7時ある。ヤマの時 ヤマ7時ない。	
0896.22	平地はハヤシ。この地には 傾斜地はヤマ。	
0897.91	ヤマ <滝末なるヤマ ^大 末なる ヤマた.>	
1706.82	キヲウ ハヤシ7時ない。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(2)
ハヤシ・ヤマ		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1739.85	ハヤシでたぬ < 大塚の山は sinrin > < あつたに kiwara は 使わぬ > < mori を 使) ずもある。これは 今の所 では 使わぬ。 >	
1862.48	平地でも傾斜地でも シュリンである。 < 「あつたは シュリンに たから よくてさる」 なんてい > (これは、現に木の 生えていなくて 以前 植杉林であった 所だから 作物のてまか さいというのがある。 >	
1863.48	ハヤシである。 ヤマともいう。 < 大きなものは シュリン >	
1942.03	ハヤシである。 < 大きなものは sinrin. 手狭の味。仲間が kiwara と書きた。 >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 200	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (0)
項目名 ハヤシ・ヤマ 1875			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
2761.77	—— < 平地で木が全く生えている所なし >	
2763.89	同上	
2792.07	ヤマである [平地の場合には特に kūsajamā ということあり]	
2803.22	ヤマである。 < 行く時は「ヤマサイ」 中に入った時「アノヤマヒトイハヤシ タマ」という。 >	
3717.90	jamaである。 草原は kappa.	
3724.96	ハヤシである。 < キダスともいう >	
3725.12	“ ” 高い草、木あり所が「山」	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 200	① 普通注記	ページ
項目名 ハヤシ・ヤマ 187S		[B 除いた共通語]	(4)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3726.25	—— 97ノ、坊主、草、皆「山」とい。	
3734.42	ハヤシである。山は「野原をいこゝめとい。	
3746.76	—— (平地かない地域である。もしあれば、 やはりヤマ・97)と言ひしむら。	
3752.53	ヤマではない。平地に木の生えている所なし。	
3754.37	ヤマである。木の生えている所と生えていない所とを、一語にヤマといっている。	
3757.59	ヤマである。〈樹木 雑草を合す〉	
3771.29	ヤマ jamanohajasi 平地の林 sadomohajasi	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (5)
	200		
項目名			
ハヤシ・ヤマ			
	1375		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3791.02	ヤマ ^{あり} (見立に所 平地で木の生えている所 も 余りないよ35カ?)	-
4628.61	ヤマである (1375 第 1 巻の答) 殆んど平地には 見つかると。	
4652.29	ヤマである。(但し、地勢上、平地は殆んどない) ^ヤ	ハヤシである。 ^{注なし}
4663.06	ヤマである (この方言の畑野から 西海岸に ハヤシである (かけては 平地の林(松林)が多く存在する))	
4663.49	D.K. jama: については 平坦 林はないので 何ともいえない。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (6)
	200		
項目名			
ハヤシ・ヤマ		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4663.92	ヤマである < 特に 学名はなし >	
4695.2/	ヤマではない < kajasi は使わない >	
4711.4/	136に「木山」の峯あり。 ヤマではない。平地部 kqidadzai である。	
4714.68	ハヤシである < ? > < 屋敷以外の所で木がいっぱい 生えていれば「ハヤシ」と思ふ。 >	
4725.92	N.R. この辺は平地に木が少なく生えていないから わからない。(低湿地で平地は同じ語か語) [ある。])	
4726.80	N.R. < 平地で木が少なく生えている所が このあたりにはない。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (7)
	200		
項目名			
ハヤシ・ヤマ		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4734.20	<p>平地 ... ハヤシ ヤマ ○ ○</p> <p>傾斜地 ... × ○</p>	
4734.56	<p>ヤマである。 → ヤマ^{注付}である。</p> <p>ハヤシである。 < 別 ></p>	
4741.92	<p>植林した所か ハヤシといわれ、自然林かヤマ と言われることが多い。</p>	
4742.37	<p>平地か 主にハヤシ。稀に傾斜地もハヤシとい 平地で 木が生えている所もヤマである。</p>	
4746.20	<p>ヤマである < この地では とうい新は 山か 呼ぶとすれば こうである ></p>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (8)
項目名 ハヤシ・ヤマ 1975			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4753.52	ヤマではTan < この地では 木の生えている所は 必ず傾斜地であつて。平地で木 生えている所は tan だ。 >	
4763.62	N.R. < 平地に木が広く生えている所は この地にはない。 >	
5471.59	ヤマである < 立木が少ない所で。 該地が 個所は稀である。 >	
5472.34	ヤマである。 < 立木の多い所は全て。 > ハヤシともいふ。	→ ^{注なし} ハヤシともいふ。
5507.20	ハヤシである < 但し。多くの場合、アオキハラ。 アオキヤマ 等。ハラヤマ を使う。 (アオキは用字の注。)>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は脱密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	200	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(9)
ハヤシ・ヤマ		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5507.66	—— 該当せず。136はモリと答えた。	
5556.84	ヤマではない。(平地で木の生えている所かない?)	
5567.46	—— (136の答が〈ヤマ〉でも〈ハヤシ〉でも ないため、戻問せず。)	
5574.42	—— 136にまとめた。	
5574.79	—— (この場合、場所(木も林も)が平地 にないため、問題にはならない。)	
5579.79	? ヤマである	^{注なし} ハヤシである。
5585.63	ヤマの方 NR. この2には平地で木の生えて いる所なく、答えようがない。	同上

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (10)
	200		
項目名			
ハヤシ・ヤマ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5595.20	—— 136の arafijate 二910は行方?	
5623.85	ヤマである。 <千曲川ハヤシ原の川原ヤマ>	
5624.85	—— 平地かない	
5632.28	jamaである。 <hadakeへ行くとjamaへ行くと 言う。これは高い所だから。> また、 <hadake a 国地の jama あり>	
5635.48	ヤマテアル } <混同してゐる> ハヤシである。	
5636.74	ヤマである。 <作業着をヤマキという>	
5641.13	ハヤシである <h:si は 要所に木のある所をいふ。>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(1)
ハヤシ・ヤマ		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5641.73	he:ʃi ハヤシである。(稍傾斜地也) <非常な斜面は tate>	
5658.89	ヤマである。但しヒラヤマという。	
5661.34	ハヤシではない <これは he:ʃi のねえ。これは jama という。>	
5666.18	—— コノハシニマナシ	
5666.85	ヤマである。 <ヒトヤオハナレイルバ>	ハヤシである。
5667.24	ヤマ .. <ハエリンとも>	
5671.68	ハヤシである 但し、全くの平地に於いては。	
5675.36	ハヤシである。(ヤマをとり程又はハヤシで、 又ヤマとの同様に山頂部はヤマ の山である。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は数密にする。

質問番号	地図番号 200	① 普通注記	ページ
項目名 ハヤシ・ヤマ 187		[B 除いた共通語]	(12)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5689.43	jamaである <植林した所> hajasiである <植林した所>	
5690.27	jama. <この所は二回にはないが 言うとすれば jama. >	
5694.82	ヤマである (実際は平地に木が広く生えている 所はない。傾斜地がある。)	
5697.20	N.R. <平地に木が広く生えている所は二回にはない。>	
5711.85	ハヤシである <jamabajasi という字がある。>	
5712.70	[ヤマである] 平地で木が生えている所なし。	
5731.67	ヤマである。 <但し。高倉では平地は耕地以外 はない。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は脱密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	200	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(13)
ハヤシ・ヤマ		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5750.84	ヤマである。 } (136 参照) ハヤシである。	
5752.94	ヤマである 浜に松の木など生えている所 sūnajama	
5793.20	“ ” < 平地で: 松の木がそれほどない所 は hāra という >	
6339.86	ヤマである < 平地はない >	
6348.77	大体 ヤマである < 平地はない >	
6356.98	ヤマではない < 松だけを ハヤシと言う。 >	
6358.43	N.R. < 平地はない >	
6374.68	ヤマではない < ? ハヤシである。しかし実際には 松の所はない。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ (14)
項目名			
ハヤシ・ヤマ 1875			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6377.11	N.R. (むらびと山)	
6378.87	—— 平地に立木なし。	
6379.67	藪に所を林といふ。	
6385.98	ヤマで山 < (野) である >	
6387.48	ヤマで山 < 山は所がない >	
6388.52	ヤマである < しかし山は場所はない >	
6389.59	平地に立木なし。 < 山を切ることを ハヤシ(山) などとは いうが。 >	
6389.98	平地で木が繁っている所はない。	
6394.78	ヤマである。 < 山は平地な場所はない >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (15)
	200		
項目名			
ハヤシ・ヤマ		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6395.21	ヤマでなく < せん場所がない。ハヤシともいわぬ。 >	
6396.08	ヤマである < しおし 実際にはなく >	
6396.62	ヤマでなく < ころあに)には せん場所がない >	
6397.62	ヤマでなく < 毛りである。しおし。せん場所は 殆んどなく。 >	
6398.07	< ? > ヤマではない。 < 同 上 >	
6401.89	N.R. < 平地に立木なし >	
6406.92	ヤマ、 } この地方では 木が 多く 生えているが ハヤシ } 山に 限られているので 両者の 区別は 困難 である。	
6407.28	— 次頁へ —	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	200	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(16)
ハヤシ・ヤマ		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6407.28	ヤマ … 山の雑木林(公私とも) ハヤシ … 山の植林	
	平地には林がない。海岸に植林した 松林(公有)がある。	
6411.66	(ヤマでない?) <? 平地に立木なし>	
6412.91	—— 平地の山林なし	
6419.25	ヤマである。 <実際は平地に林はない>	
6421.26	ヤマでない。 (附近に平地少量)	
6421.82	ヤマである (但し平地は全て 宅地 畑田畑のり)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (17)
項目名			
ハヤシ・ヤマ 1375			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6422.16	ヤマである < 但し平地はない >	
6422.93	——— < 平地で木が広く生えている所はない > < モリ山 (家の近くの山) の立木のある所はハヤシ 又は コシハヤシ (腰林) と言う。 >	
6429.15	ヤマではない) < 平地にハヤシはない。木が広く生え ハヤシである) いるのは山だけだから、ハヤシの北を ヤマと呼ぶ。 >	
6430.53	ヤマである < 平地はない >	
6431.41	ヤマ, ハヤシ < 樹種による >	
6434.57	N.K. (このあたりでは、平地で木が 広く生えている所はない。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (18)
	200		
項目名			
ハヤシ・ヤマ		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6435.68	ハヤシである < こんな場所はない >	
6440.25	N.R. (平地に立木のある地なし)	
6440.67	< 松山、杉山、炭山など > < 平地に立木なし >	
6443.88	ハヤシである (共)	
6447.08	ヤマである しかるに杉な所はない。畠の荒果て下の中ヤマといえる。	
6450.45	ヤマでない < 平地には木が生えていない >	
6452.17	ハヤシである < 但し、松林、杉林などといふ。杉の時は <u>杉林</u> といわす杉山といふ。 >	
6453.59	ハヤシである 但し 実在せず	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A) 普通注記 B) 除いた共通語 C) 除いた特殊語	ページ (19)
項目名			
ハヤシ・ヤマ 1875			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6455.27	N.R. < 平地でせんばに木が生えている所は 2912 に なく、 繞って名称も無い。 >	
6455.88	—— (186をモリと替えた)	
6459.52	マ7ハヤシである < 松林しか近辺にない >	
6460.08	—— 平地. 傾斜地の区別なし	
6460.76	—— 平地に木の生えていない。	
6464.23	マ7である > < せんば所は存在しない >	
6466.01	ハヤシである > (近辺にせんば場所がない)	
6470.71	—— 平地 傾斜地の区別なし。	
6472.05	—— 平地で木の多い所なし	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (20)
項目名 ハヤシ・ヤマ 1875			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6474.03	ヤマである。(この地方では平地に実物は存在しない)	
6476.17	—— <この土地には平地で木が広く生えている所はない。そういう所は敬えらねハヤシというと考えている。小豆島全体にハヤシと呼ばれている所は殆んどない。特に上左町にはない。>	
6477.02	ヤマではない(小豆島には平地で木が広く生えている所はないのである。)	
6479.51	ヤマではない<平地に山林がないうち。>(事実ない)	
6480.91	ハヤシの語なし。<平地に木が茂っている所なし>	
6481.56	相当茂っておりハヤシというだろう。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (2/)
項目名 ハヤシ・ヤマ 18%			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6482.23	—— 平地で木が少なく生えている所はない。	
6482.52	—— 〈平地かないか? 言わないか? hajasik(は言)い。 hajasino ongi, hajasijama, hajasikosaeta. といふことあるか? その場合 hajasij(は)畑であった所へ植樹 したものを言っている。〉	
6484.78	ハヤシの所かない。平地に木が少なく生えている所 かないから、何とも言えない。この部落には 姓にもハヤシ氏はない由。	
6485.14	共通語のハヤシに相当する所がこのあたりにはない。 従ってハヤシは学校で教えられて頭の中に 根拠としてのみあつた。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (22)
項目名			
ハヤシ・ヤマ		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6485.46	ヤマでない < このあたりでは平地で雑木の生えている所がない。平地は全て田である。ここでもしありとすれば学校で教えられるようにハヤシというべきかと考える。 >	
6485.82	ヤマでない (ハヤシである。しかしこのあたりには雑林が実際にはない) >	
6486.07	平地に木が無く生えている所がない。	
6486.50	ハヤシである。谷などある深い山に入ればヤマである。この村には阿讃山脈に近づくあたりなので一帯に起伏した丘陵地(オオヤシ)を南側の畑などが多い。その標高所に生えている時はやはりハヤシである。	
6490.30	平地には立木なし。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (23)
項目名			
ハヤシ・ヤマ 1375			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6491.49	hajaſi 切らす: hajaſi-te おくところ。 jama 傾斜地。	
6497.41	(136ヶ ヤマでも ハヤシでも 木の生えている所は 復旧せず)	
6518.87	ハヤシである (木の生えている所は 刈を除いて 全てハヤシである。)	
6519.67	ヤマ < 木が生えていれは どこでも ヤマ。 > ハヤシ < ヤマで 自らの 持山 ならハヤシである。 > (木の2~5,6本ある ところとして 刈は 刈。) 1375を参照。	
6522.93	ヤマ 「ツル」という草多し。	
6523.54	ハヤシ < 畑 植林してあるものに限る >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 200	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (24)
項目名 ハヤシ・ヤマ 1875			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6528.06	jama 〈私有林〉〈平地、傾斜地に関係ない〉 hajasi 〈共有林〉	
6528.64	不明。インメントか市内在住者の為、辺りに このような所がなく、不明。	
6529.63	jama z'tau. 〈このあたりでは木、その所は全部傾 斜地で、平地はない。〉	
6531.53	—— ヤマかハヤシで、平地に林の実物が多い。	
6533.36	ハヤシ z'tau 〈傾斜地の場合には jama 或は matsu ba jasi といふ。〉 (このあたりでは松が多い)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕[] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	200		
項目名		B 除いた共通語	(25)
ハヤシ・ヤマ 1875		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6534.37	? yama, } hayaši } < 平地、傾斜地の区別なし。 仕事の内容による区別があるが、 薪作りに作る時はヤマ、杉松など材 木とする所は ハヤシ・というように区別する のであろう。 >	
6537.21	不明 < 近くに該当する場所がないから知らない。 但し、木がなくても同環境は jama と。 >	
6539.12	やま < 高い所 > } < このあたりは平らな所が多い はやし < 平らな所 > } のため木を取りに行くと 全部「やま」である。 >	
6544.26	ハヤシではない < 傾斜地は ヤマである >	
6544.69	ハヤシである。 < 但し細かく分けると、 jama rokuji である。 >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(26)
ハヤシ・ヤマ 1875		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6545.88	ヤマである < heitan na jama と書く筈がある。 >	
6546.15	ハヤシである < しかしこれに当り単語は思い出せず。 > 〔 ヤマノスツ とでも書くか? 〕	
6546.73	ヤマである (被調査者の答の唯一の根拠は、 この近くにはミヤマという林があり、 それは平地であるというところらしい。)	
6548.26	hajasjである。 < 平地で、生えている木の生えているこ が条件である。 > < jamaは高く生えている所。木はあつ たなくてもよい。 >	
6549.03	jamaである このあたりでは平地のたぐい全部 傾斜 地である。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B] 除いた共通語	(27)
ハヤシ・ヤマ		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6552.03	? ヤマではない。	
6552.71	「坂田ヤマ」 (但し念のためモリとハヤシの区別をたしめた。 木の2.30m 裁っている所がモリで、 4本くらい裁っている所がハヤシと判った。)	
6553.83	ヤマではない < 平地で木の一面に生えているのはモリである。 > 要するに ハヤシとは言わない。 (?) しかしモリといふのはどうも疑わしい。 「ハヤシ」とは言わないことと区別しやすいた めた。ろろ。	
6556.60	ハヤシである } <右>ではヤマはと55 (でも平地でも) ヤマである <左> } でもあることは。今のハヤシか そうであるのと同じであった。 >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (28)
	200		
項目名			
ハヤシ・ヤマ			
	1375		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6562.22	—— (ヤマでも ハヤシでもない)	
6563.58	ヤマである < 但し山間部だから、名称は所は 余りない。 >	
6563.84	ヤマである (という所なし)	
6564.33	ヤマでない < ハヤシという。但し、林に相当する地形 は当地にはない。 >	
6565.22	ヤマである < 二辺は平地に木が広く生えていることは ないから、不都合でないか? もしそんな所 があれば、やはりヤマといわねば 仕方がない。 >	
6571.63	ハヤシでない < 平地の時は雑木でも モリという。 >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (29)
	200		
項目名			
ハヤシ・ヤマ		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6572.22	傾斜地はヤマ、又はキシヨ。ハヤシではない。	
6573.17	ヤマではない。〈「林」といふ。しかし林に相当する様な地帯はない。従って、要所に林の一面に生えている所は「山である」とか答えるのがないが、「ハヤシ」という言葉は知っている。〉	
6573.71	ヤマである。〈「ハヤシ」ということは平地に木が広く生えている所をいうが、学校で習ったことは、当地ではそれに相当する所はなく、皆傾斜がある。平地(ヒラチ)の所である木が生えていれば、やはり「ヤマ」である。〉	
6574.06	ハヤシである。〈「ヤマ」は木が生えていなければ山であつて、大きなものという。〉	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (30)
項目名 ハヤシ・ヤマ 1375			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6577.71	ヤマである。 [但し、当地には 該当するものなし。]	
6581.36	ハヤシである。 < ハヤシは 個人所有のもの ヤマは 共有のもの。 >	
6581.52	ハヤシである < ヤマとは 木のあるなしによる 高い所である。 >	
6582.12	ヤマである < しかしヤマは 本当は 高い所ではなくては ならず、 高いものは (ミカドでも柿でも 盛木 ものは) ヤマである。 >	
6590.87	ヤマでない < 平地で生えている所は ハマ とも言う ハヤシの語は使わぬ。 >	
6594.67	N.K. < この辺では、平地で木の生えている所は ないから 全部 ヤマでよい。しかし 平野部へ行くと どういうか 判らない。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (3/)
	200		
項目名			
ハヤシ・ヤマ		1975	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6603.82	ハヤシである。〈人田か植林したものでなければ forest〉	
6607.84	ヤマである。〈平地のもを特に he:tsijama, テコホコのあるは? sayajama.〉	
6609.05	——— 〈水にたぐいさ わりたう〉	
6611.68	N.R. 〈この地には平地かたう〉	
6613.07	ハヤシである。〈ハヤシの代りに ハエシとウ〉	
6616.79	ヤマである。〈但し、途中で木かたはれとウ所〉 cf. 139S	
6625.17	ハヤシ	家を離れた所は、田畑以外の所は皆、ヤマとウ。高原だからである。

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(32)
ハヤシ・ヤマ 1375		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6628.23	〈木があれば〉山である。	
6630.58	——— 〈平地があるか? jama であるか?〉かは 知らぬ。この地は山地で、平地 がほとんどないから平地のことは知らぬ。 雑木の生えている所は全部 jama という。〉	
6634.07	ハヤシ ヤマは木のあるなしに関係なく、 高い所をいう。ここは富士山麓の土地 である。	
6635.87	——— 雑木の共有林 ヤマ (平板型アト外) という。1395の時に解答した。 ただヤマという語は地形的に高い 所をいう以外には使わない。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	200		
項目名		(B 除いた共通語)	(33)
ハヤシ・ヤマ		(C 除いた特殊語)	
		1875	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6640.34	jama <木の生えている所(この地は平地には生えて てない。いな)全体をさし、の一部を hajasii とす。>	
6640.76	はちである。 <やまは木があってもなくとも全体を指す。>	
6641.97	ヤマ <まっぴやシ, 村ハヤシ, のよ)に、松、木の 育てある所にはいりか? たたハヤシとい ことはない。>	
6642.33	jama 平地以外はやま。 jamabatake, jamatfabara (山茶原)のよ)にいう。	
6642.58	jama 地勢に関係なく、木の生えている所 (松、松など)。	
	hajasii 切れるよ)な雑木の生えている所は 平地でも傾斜地でもいう。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のくく〔〕は敢密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(34)
ハヤシ・ヤマ 1875		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6646.23	ヤマ (地形に関係なし。 ハヤシb 地形に関係なく、植林した所も全ていう。)	
6652.30	ヤマではない mori	
6652.77	後同せず (136の mori)	
6702.2/	ヤマである <このあたりは平地のみ>	
6730.33	ヤマではない 前同136に 得た谷と関連させて 後同した所、「鴨川あたりには平地が 木がたく生えているような所は傾斜地 であり、平地より更に地面が隆起 している所が大部分である」と答えていた。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(35)
ハヤシ・ヤマ 1875		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7246.45	ヤマである 或いは jabo という。	
7302.87	ヤマである <ハヤシというコトは使わない>	
7303.29	—— <この所は田野(浦)にはない。 (この附近には ハヤシに相当する所はない。ヤマも住居地などで少しだけはない。)>	
7308.33	<?>ヤマである <この所は山はたがわらない>	
7308.48	<?>ヤマである。	1
7309.37	ヤマである。この所は山。海に松林がある。これはヤマともいわぬ。	
7309.61	ヤマである。 <? 山、ハヤシ?>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 ページ —
	200	
項目名		[B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語 (36)
ハヤシ・ヤマ		1875

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7312.11	— <ニの附近に森なし>	
7321.93	ヤマである <ニのあたりには「ニ」。ハヤシは用いない>	
7322.21	ヤマである <但し「ニ」の存在所はない>	
7322.81	ヤマではない <ハヤシは山林にみえよう。>	
7332.46	ヤマである <?ハヤシである。ハヤシとは普通去われ。>	
7339.27	N.R. <平地で木が少なく生えている所がないから。>	
7340.29	ヤマではない <ヤシ(藪?)とか。モイ(森)のくわい>	
7341.47	N.R. 136と同じ事情により無答。	
7342.12	ヤマである。(被調査者にはハヤシの留意性は認められなかった。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(37)
ハヤシ・ヤマ 1875		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7342.76	jama 136のjama。ハヤシとの語形 普通言わぬ。 〈アスコン山は平地部E2〉とのように 〈平地に木の交わる〉} 言う。	
7347.55	? ヤマである 〈平地の林かなup'sよくわかる〉	
7349.07	jama 〈jamaである普通だが、平地所は皆 宅地に使われて、木などの生かされて いる所は実際にはない。〉	
7350.96	ヤマである 〈カヤマ、ソヤマなども使う〉	
7351.09	—— ヤマでない、ハヤシではない。この地方に ない。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(38)
ハヤシ・ヤマ 137S		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7352.38	—— < 誰から答えられぬ >	
7353.03	ヤマでない < 但しその語の場所はない > < jama は 山林の意にも、da にある島の意にもなる。 >	
7353.51	ヤマである < 平地のヤマを指して、シヤヤマという字がある、場のよい処の意味である。 >	
7356.70	ヤマである < 平地なら de:ra no jama という >	
7368.32	ヤマでない (ここにはヤマの字の場所はない)	
7372.96	(?) ヤマでない (これ由137と同じく被調査者の個人的に、 養林的环境から遠いという通知による 答だろ。宇王町一般の答としては、 「ヤマである」というのが正しいと思う。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ
	200	
項目名		[B 除いた共通語]
ハヤシ・ヤマ 1875		[C 除いた特殊語] (39)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7374.15	N.R. (〔ヤマである〕)	
7374.75	ヤマである < ハヤシという語は知らないではないか 使わない。 >	
7381.47	ヤマである。 < 但し、ここには 谷という場所はない >	
7382.97	ハヤシである < 平地の林は ヒラハヤシという。 傾斜地の林は サカヒラハヤシという。 > (坂平)	
7385.61	ヤマである この見は 山岳地帯で平地はない。	
7394.14	同 上	
7400.15	同 上	
7402.42	hajasi である。 < 地名を冠して ko:ka-bajasi, o:no-bajasi ともいう。これは又 ko:ka-baja, o:no-baja の方がよい。 >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(40)
ハヤシ・ヤマ 1375		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7403.16	jama じふい。 (平地であれば hajasi である) と。 答えは。当地では。平地は ほとんどとも作らぬである。)	
7404.12	—— (hajasi と ij の方はしない。 jama と ij の語はあるか。「木の生える所」と いう条件には関係ない由。)	
7405.85	ヤマである。 ハヤシである。 ハエ	東祖谷は純粋な平地のない地帯。 ヤマは即ちハヤシであり。ハヤシはヤマに あるから どちらともい。 但し。傾斜地の場合は特にハエ という。
7406.25	ヤマである	古い場所という。ハヤシは親園か 狭い。→

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(4/)
ハヤシ・ヤマ 1875		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7411.27	hae という。 <jama は hagezuru 木はないという>	
7421.38	jama である。 (平地といえる所があり見当らない)	
7421.62	N.R. <平地はないので特殊(い)は jama である? jama である。 >	
7430.75	jama である <asiko no jama wa jo:huuto'ta 木と云う。 >	
7431.82	<希> 1ヶ所である	中である
7440.69	hajaši <古い平地で木が生えている所はないけれど、平地でも傾斜地でも hajaši である。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	D 普通注記 ページ
	200	
項目名		[B 除いた共通語]
ハヤシ・ヤマ 1875		[C 除いた特殊語] (42)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7440.72	hajasi である。 < mori jori o:ke:dasuna >	
7501.68	ヤマである < このあたりには 山がある場所はない。 このハヤシの語は用い地から、やはり ヤマである。 >	
7503.11	N.K. < 当地では 山がある場所はない。 「ヤマ」は 山 である。 >	
7504.64	—— < 当地は平地らしい平地はないので。 この山には 谷とよるが ない。 >	
7522.48	ヤマである (土地自慢では ヤマと称していることが 頭にあるようである。)	
7522.94	ヤマである < 山がある場所は この山に ない >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	200		
項目名		[B 除いた共通語]	(43)
ハヤシ・ヤマ 1875		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7523.74	jama ではない これに当る 適当な語はないか? hajasiwara などという。但し これは 雑木林の意で、ginokiwara (ひき林) などに對す。	
8301.19	ヤマである <平地でも木が立ってればヤマ>	
8303.13	jama である。(そういう所はないか)	
8305.73	jama (ハヤシという語は使わない)	
8313.88	ウヤマ (山の敬詞、ヤマの転である)	
8316.20	ヤマではない。物事は mopi という。	
8323.59	ヤマである <ハヤシという語は使わない>	
8325.77	ヤマ である。マヤマー 杉林、マヤマー 杉林	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A) 普通注記 ページ	B) 除いた共通語	C) 除いた特殊語 (44)
	200			
項目名				
ハヤシ・ヤマ		137		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
834/12	ヤマである (海岸の松林も mattjama < matsujama.)	
8345.24	ヤマである 竹林 = takejama. 岡山語も使わない。	
1167.01	jamaである < -jita 木立もい >	
1213.76	—— ヤマは 草が生えて 荒れ果てた野原 という。木が生えている所は いわない。	
1223.91	? jamaである。	
1231.88	ヤマでない。固有名詞 6LT. 小高い丘に木 生えた所を muijama といっている。	
1232.29	NR 136 は himba という。	

—— 以上